

# 順天堂医院 ニュース 2007 NO.22



## 「平成19年度を迎えて ～院長挨拶～」

この4月1日に昨年度から引き続き順天堂医院院長に就任いたしました。「新年度」は通常1月1日から始まりますが、順天堂医院は順天堂大学医学部の附属病院のため大学の新年度にあわせて順天堂医院も毎年4月1日が新年度の始まりとなります。今年度は、副院長・院長補佐が交代となり、副院長には鶴丸昌彦食道・胃外科教授と高崎芳成膠原病・リウマチ内科教授が、院長補佐には代田浩之循環器内科教授と稲田英一麻酔科・ペインクリニック教授が就任いたしました。看護部は昨年度に引き続き本間ヨシミ看護部長が、薬剤部は佐瀬一洋教授（薬剤部長）が、また病院事務部は黒田稔事務部長が責任担当いたします。



院長:梁井 皎

また、患者さまの窓口となるサービス課は小瀬良愛子師長が担当いたします。

順天堂医院の使命は、患者さまの立場に立って(1)高度の医療、(2)サービスする心(仁)にあります。

毎日、多くの患者さまにお越しいただいて、待ち時間が長くなったり検査待ち日数も長くなりご迷惑をおかけしておりますが、出来るだけご迷惑をおかけしないように努力して参りたいと存じます。

今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

## 副院長紹介

### 膠原病・リウマチ内科

この度、4月1日付けで副院長を拝命いたしました。1838年以来の歴史と伝統を誇るこの順天堂医院におきまして、梁井 皎院長の指導のもと、患者さま一人ひとりに、良質かつ安全で心のこもった医療を実践し、皆さまに満足していただけるサービスを提供することを目指して努力いたしております。関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどの膠原病の診療を専門にしておりますが、何か当院につきましてお気づきの点がありましたらどうぞ遠慮なくお声をおかけください。



副院長  
高崎 芳成

## 副院長紹介

### 食道・胃外科

病院には不安な気持ちでかけられる患者さまがほとんどだと思います。とくにはじめてかけられる方は初診の手続きなど判らないことばかりだと思います。私どもはどんな方にも安心して、しかも頼れる、かかってよかったと思っていただけるような病院を目指しております。病いは患者さまと私どもが一心同体となって取りくまなければ克服することはできません。皆さまと気持ちをひとつにして診療にあたりたいと思っています。どんな小さな事でも結構です。何かお気づきの点がございましたらご遠慮なくお知らせいただきたく存じます。



副院長  
鶴丸 昌彦

## 院長補佐紹介

### 循環器内科

このたび、稲田麻酔科・ペインクリニック教授と共に院長補佐を拝命しました。梁井院長の指揮のもと、鶴丸、高崎副院長と今年度の病院運営に参画していくこととなります。これまで循環器内科およびハートセンターの運営に携わってきましたが、これからは病院全体の運営に微力ながら関わっていくことになり、いっそう気の引き締まる思いです。私は医療材料委員会、臨床検査部運営委員会、ICU CCU 重患室運営委員会などが主な担当ですが、順天堂医院においてになる患者さまに、より良質で快適な医療を提供できるように、この1年間で精一杯務める所存でいます。よろしくお願いいたします。



院長補佐  
代田 浩之

## 院長補佐紹介

### 麻酔科・ペインクリニック

順天堂医院は臨床においても、研究においても日本で最もアクティビティの高い病院の一つです。忙しさの中でも、私どもは患者さまにやさしく、マネーよく接することを心がけています。私は主として手術部、救急部、集中治療室などの急性期医療を行う部署の運営に携わっています。

全身状態がよい患者さまも、重症の患者さまも安心して治療が受けられる安全な医療環境を提供できるように努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

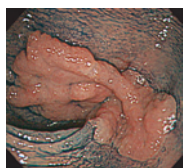


院長補佐  
稲田 英一

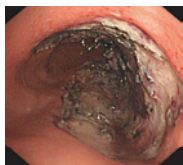
# がん治療の最前線シリーズ

## がん治療の最前線シリーズ:大腸腫瘍のESD治療

### 内視鏡室



大きな平坦型腫瘍痕



ESD後の潰瘍面

大腸腫瘍には良性腫瘍(前がん病変)と悪性腫瘍(がん)があります。良性腫瘍および早期がん(転移のないもの)は内視鏡治療の対象となりますが、大きな平坦型腫瘍を従来の方法で切除することは技術的に困難であり、遺残再発することや外科的手術が選択されることもあります。近年開発された電気メスを用いた切除法(内視鏡的粘膜下層剥離術:ESD)は大きさや形態に関わらず一括切除が可能で再発の低い手技であり、早期胃がんでは標準的治療として普及してきました。大腸は壁が薄く難易度も高いため、現時点でESDは一般的な治療法ではありませんが、我々は最先端の医療機器を用い安全に十分考慮して大腸ESDを積極的に施行しております。

坂本直人、冨木裕一、渡辺純夫

# 生活習慣病シリーズ (8)

## メタボリックシンドローム

40歳以上の国民の10~20%がその診断基準にあてはまるといわれる、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が話題になっています。放置しておくと、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化性疾患をおこすリスクが高いことが分かってきたためです。内臓肥満の程度を簡便に調べるために、臍の高さで測ったウエスト径がその診断基準のひとつになっています。内臓脂肪から、体の中のインスリンというホルモンのはたらきを悪くする物質がでていることが、その病態の原因ではないかということも分かってきています。明らかな糖尿病、高脂血症や高血圧をすでにおもちの方は、それらに対するお薬が必要になりますが、そこまでは至ってないけれど、それらの複数の数値が正常よりやや高く、ウエスト径の大きい(最近増えてきた)方はメタボリックシンドロームの可能性があり、食事や運動などの生活習慣の見直しや改善が必要です。自分はそのうちではないかな?と気になる方は、一度当科にご相談ください。



糖尿病・内分泌内科  
准教授 藤谷与士夫



腹部肥満(腹囲) 男性 ≥ 85cm 女性 ≥ 90cm
+
下記のうちの2つ
血圧 > 130/85mmHg
空腹時血糖 > 110mg/dL
中性脂肪 > 150mg/dL
HDLコレステロール < 40mg/dL

メタボリックシンドロームの診断基準

## 診療科トピックス

### ～小児科発達外来から～

小児科・思春期科

“2歳を過ぎたのにまだしゃべらない”という発語の遅れは、お子さまの発達相談のなかでよく経験されます。言葉の発達には発語のみでなく情緒・認知・運動・社会性などの多くの発達領域が影響します。個人差も大きく経過良好な場合も多いのですが、その鑑別として自閉性障害や聴覚障害など早期の療育が必要となる場合もあります。当外来では、おもちゃ(積木、パズルなど)を用いて精神、運動、行動情緒面(注意力・順応力など)などの点から総合的に発達を評価し、診断及びその後の方針(日常生活上のアドバイスや適切な療育)などを指示させていただいております。お子さまのことばの発達でご心配なことがございましたら、当科外来までお気軽にお問い合わせください。

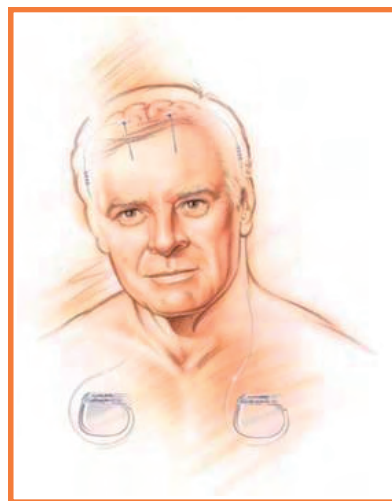


小児科・思春期科助手  
田中 恭子

### 脳深部刺激療法によるパーキンソン病治療

脳神経内科

パーキンソン病は内服治療が中心で、最近新しい内服薬も認可され患者さまにとっては治療法の選択肢が広がっています。しかし、中には、薬の効果の持続時間が短くなり、一日に何回にも分けて薬を服用しても日中効果の切れる時間がある方、または副作用等の理由で薬の増量が出来ず日常生活に不自由を感じられている方がおられます。当科では、そのような症状に効果があり、近年パーキンソン病の新しい治療法として注目されている脳深部刺激療法を昨年より開始いたしました(脳神経外科と共同)。これは脳の視床下核という部分に細い電極を植え込み電流を流すという方法で、外科処置としては比較的侵襲の少ない方法です。国内ですでに3,000例以上の方が受けておられます。この治療法に関して詳しくお知りになりたい方は脳神経内科外来にお尋ねください。



## ペインクリニック外来の御紹介

麻酔科・ペインクリニック

原因はわかっているのに緩和できない痛み…に悩んでいる患者さまも多いのではと思います。当科では日本ペインクリニック学会の専門医を中心に、新体制で、痛みに対する診断と治療を行っております。治療の対象は、頸肩腕痛や腰痛・坐骨神経痛、血流障害による痛み、带状疱疹後の神経痛、術後痛、糖尿病からの痛みやしびれ、顔面神経マヒなどです。治療としては、神経ブロック、高周波熱凝固、硬膜外内視鏡(先進医療)、硬膜外脊髄刺激療法、ボトックス注射、薬物療法など多岐にわたります。がんの痛みでお悩みの患者さまにも、神経ブロックをはじめ、より適切な鎮痛薬の選択や有効な服用法についてのアドバイスを専門的な立場から行っております。すでに他科におかかりの方は、その科の担当医にご相談の上、受診ください。



麻酔科 ペインクリニック  
准教授  
井関 雅子

## 看護部ニュース

2号館3階病棟では、血液透析導入のため、シャント(腕の動脈と静脈の一部をつなげる)手術を受けられた患者さまに対して、手術後の腕の安静を保つことから『シャント保護筒』を使用しています。

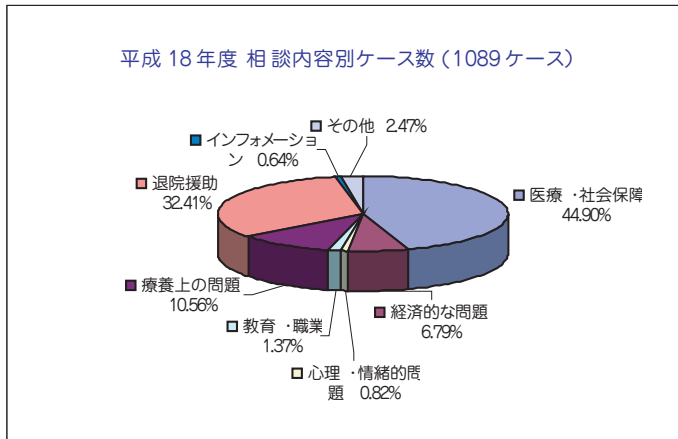
このシャント保護筒は、当病棟の看護師が手作りで作成しており、これまでに数々の改良を重ねてきたものです。筒の使用により打撲や腕を曲げることがなくなりシャント閉塞等のトラブルは起きていません。その成果を昨年11月に開催された「医療の質・安全学会」で発表しました。またシャント保護筒の統一した活用が図れるよう、12月に院内発表を行いました。



今後も、使用される患者さまの声を第一に、使いやすく衛生的でより安全なシャント保護筒の改善に取り組み続けていきたいと思ひます。

## 医療福祉相談室ニュース

☆平成18年度に当室で受けた相談内容の割合は、次のとおりです。



昨年度、新しく受けた相談は、1,089件でした。

☆医療・社会保障制度の相談が一番多く、制度の改訂や新設、自治体による運用の違いなどで、利用する際、複雑さを増しています。医療費助成制度の申請手続きの説明や、適切な福祉サービス利用ができるよう、関係機関と連絡をとりながら対応しています。

退院援助では、地域性や患者さま・ご家族の状況、社会的な背景を考慮した転院が必要な場合、リハビリテーション専門病院や療養型病院などと連絡をとりながらお手伝いしています。

☆4名のソーシャルワーカーが相談にのっておりますが、お待たせすることが多くなってきております。事前の電話予約(03-5802-1207)をいただければ幸いです。

## 栄養部ニュース

### 食事バランスガイド「主食編」

順天堂医院ニュースNo.21でご紹介した「食事バランスガイド」の中で今回は主食についてです。



ごはん・パン・めん等の主食ですが、三大栄養素の中で炭水化物が主に含まれています。この炭水化物が40g含まれる主食の分量が「1つ」の単位であらわします。

たとえば、女性で活動量が低いのは4〜5つ、女性で活動量が普通以上と男性で活動量が低いのは5〜7つ、男性で活動量が普通以上は7〜8つを食べることが目安です。

主食は働くエネルギーの源、主菜・副菜と組み合わせて上手に食べましょう。

詳しくは厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/pdf/eiyousyokuji8.pdf>をご覧ください。

次回は主菜・副菜について考えます。

## 薬剤部ニュース



### 今回は、お薬の窓口でよくあるご質問とその答えを紹介します。



Q: お薬によって、処方される日数が違うのは、どうしてですか?

A: それは、患者さまにお薬を安心して安全にお使いいただくために、法律でお渡しできる日数の上限が決められているからです。

例えば、発売して1年以内の新しいお薬や睡眠薬、麻薬などは原則として14日分までとなります。その他、風邪など急な症状の場合は、症状にあわせたお薬の日数となります。

お薬のことは薬剤師にお気軽にご相談ください

## 看護部「ケイクんの入院から退院までの軌跡」

高島慧ちゃんと  
出会ったのは平成  
16年の春、手術室で気管切開を行うためでした。

平成15年11月生まれの慧ちゃんはまだ6ヶ月で、女の子と間違えるような可愛い赤ちゃんでした。それからは1週間に1度か2度、カニューレ交換のために手術室にいられました。ハラハラさせられる時を何度も乗り越え『慧ちゃん』は、いつの間にか『慧君』に成長し、手術室へ入室の必要なくなりました。

すっかり男の子らしくなった慧君、退院おめでとう! そして、いつも素敵なお母さんママおめでとうございます。本当に長い病院生活でしたね。お疲れさまでした。

手術室業務課 谷村恵美子

順天堂大学医学部附属順天堂医院  
〒113-8431 文京区本郷3-1-3  
TEL : 03-3813-3111 (大代表)

(平成19年4月作成)



ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

